

令和4年7月27日

松阪市議会議員 堀端 脩 様

公明党 奥出かよ子

令和4年度市町村議会議員研修 [2日間コース]

「第2回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」

研修報告書

1. 日時：令和4年7月20日（水）～21日（木）

2. 場所：公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

3. 講師：武庫川女子大学経営学部 教授 金崎健太郎
静岡県立大学経営情報学部教授 小西 敦

4. 目的

決算審査の意義・重要性を認識し、市町村議会議員が身に付けておきたい決算書類のポイント及び財政指標による自治体財政分析の手法を学び、財務書類を活用した決算審査について学習。

特に、行政評価手法を活用して事務事業の改善ポイントを検討し、予算審議にも活用していく方法を、身につけていく。

5. 研修内容

●金崎健太郎（1日目）（自治体決算の基本と実践）

○地方公共団体の会計

作成目的 住民の福祉の増進

報告書 住民（提出先は議会）

決算書類 歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

○自治体決算とは

決算：一会計年度の歳入歳出予算について作成する確定的な計算表

① 歳入予算に対する出納の実績、歳出予算の適正な執行及びその成果を調査、その適否をみる。

② 次年度予算の執行の指針となる。

○チェックポイント

決算規模：一般会計を中心に、対前年度の伸び率、金額の増減と主要な要因に着目

歳入の状況：特に一般財源の増減に注目

税収の増減

歳出費目（目的別）：その増減と要因に着目

歳出費目（性質別）：特に義務的経費の状況に注意

特別会計の決算状況

基金の残高

市債の状況

財政指標の動向

●小西 敦（2日目）（行政評価を活用した決算審査）

○行政評価導入の目的

- ① 国民に対する行政の説明責任の徹底
- ② 国民本位の効率的で質の高い行政の実現
- ③ 成果重視の行政への転換

○KPI（key performance indicator）

地方創生総合戦略における重要業績評価指数

政策分野ごとに目標年次（5年）後の基本目標を設定

地方公共団体が自ら行う評価が可能な数値等により、具体的目標を定めることに努める。

○EBPM(Evidence Based Policy Making)

（証拠に基づく政策立案）

地方財政改革及び地方行財政の「見える化」改革

感染症対応として実施された地方創生臨時交付金などの地方自治体の自由度が高い予算措置について、事業の用途等の比較検証

○藤枝市議会の議会改革参照

3つのチェック体制

- 1、決算特別委員会・前年度決算の審査と抽出した施策（事業）の評価を行い、次年度予算編成に向け提言！
- 2、予算特別委員会・次年度予算の審査を行うと同時に、決算特別委員会から出された提言の反映状況をチェック！

3, 常任委員会・・・現年度の事業の課題や進捗状況をチェック！

所感：自治体の決算の基本と実践を学び、市の歳入予算に対する出納の実績、歳出予算の適正な執行及びその成果を調査、その適否をみていくこと。そして、次年度予算の執行の指針としていく。北海道の夕張市のような財政難から財政再生団体に指定されるようなことのないよう、松阪市の健全な財政運営を維持し、さらに市民の皆様にご報告していけるよう取り組むことが重要である。

